

トヨタ車体、平成28年度省エネ大賞「省エネルギーセンター会長賞」を受賞

トヨタ車体株式会社（本社：愛知県刈谷市 取締役社長：増井 敬二）は、平成28年度省エネ大賞（主催：一般財団法人 省エネルギーセンター）の省エネ事例部門において、省エネルギーセンター会長賞を受賞し、表彰式が2月15日（水）東京ビッグサイト（東京都江東区）で開催されました。

【省エネ大賞とは】

事業者や事業場等において実施した他社の模範となる優れた省エネ取り組みや、省エネルギー性に優れた製品ならびにビジネスモデルを表彰するもの。さらには、情報発信等を行うことにより、日本全体の省エネ意識の拡大、省エネ製品の普及などによる省エネ型社会の構築に寄与することを目的としています。

▼受賞テーマの名称

工場におけるマネジメント改革による省エネ活動

▼受賞事例の概要

トヨタ車体 第5次環境取り組みプラン（2011～2015年度活動）のCO2目標達成には、従来の省エネ量の4倍もの削減が必要なため、国内4工場（本社・富士松、刈谷、いなべ、吉原）で省エネマネジメント改革など抜本的に取り組みを見直し、省エネ活動を推進しました。

現場の“頑張り”のデータ化などによる「活動の見える化」により部門間の競争意識を生み、優秀職場を表彰することでモチベーション向上にもつながりました。また、環境展示会や環境講演会の実施を通じて、トップ、従業員、仕入先のみなさんを含めた知識や情報の共有を図りました。さらには、省エネパトロールの強化などの活動を活性化することにより、従業員の省エネに対する意識改革が進みました。

その結果、全社のエネルギーの削減（原油換算）は、取り組みを行った2年間合計でエネルギー消費量14,000kL（13年度比▲9%相当）、エネルギー消費原単位▲11L/台（13年度比▲6%）を実現しました。

これからもトヨタ車体は、全社で省エネ活動に取り組み、自然と調和する工場づくりの推進を図ってまいります。



表彰式



環境展示会



昼休憩時の省エネパトロール

